



朝晩の冷え込みが激しくなり、秋の気配が駆け足でやってきたように感じます。寒くなってきたので、「玄関のカメやメダカは寒くないかな？」と子どもたちが心配しながら、観察したり、世話したりしています。また、園庭のどんぐりが実を落とし、子どもたちがうれしそうにどんぐりを拾い「どんぐりあったよ」と教えてくれます。

冬に向かっていく季節ですが、日中は、しっかり体を動かして遊び、秋の自然に触れて遊びこんでいきたいと思います。また、12月には生活発表会があります。子どもたちの楽しんでいることを活かして、友達や先生と一緒に表現することを楽しんでいきたいと思います。

11月の教育・保育目標

- ・秋の自然に触れ、興味、関心をもちながら、遊びに取り入れて楽しむ。
- ・戸外に出かけ、体を存分に動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・保育教諭や友達と一緒に表現することを楽しむ。



研究の取り組み紹介

「自分なりの言葉で思いを伝え合うことを喜び子を目指して」

～豊かな言葉や心動かす体験を通して～

3歳児のめざすこども像

生活に必要な言葉がわかり、保育教諭や友達に自分なりの言葉で伝えたり、聞いたりする子

★当番や誕生会等、楽しみな活動で
話す経験を積み重ねる

★生活体験をごっこ遊びで再現するごっこ遊び

3歳児は、先生の真似っこ大好きな年齢です。はじめは先生のお手伝いから始め、だんだん自分から発信することが増えていき、徐々に相手と気持ちを合わせて話すことも学んでいきます。

♡当番やみんなの前に立つ機会を設け、社会的なやりとりの基礎を培う体験を積み重ねています。



★好きな遊びを通して繰り返し遊ぶ経験

この葉っぱ
違う色がある！



赤い葉っぱと思ったけれど、よく見ると1枚の葉の中にいろいろな色があると気づいた大発見を言葉にして伝えていきます。

♡保育者は発見や思いに共感し、興味・関心の幅を広げたり、豊かな言葉に触れられるように語彙を豊かに語りかけています。

注射
しますよ



寝て
ください

自分が見たことやしてもらったことを遊びの中で再現するごっこ遊びが楽しめるようになる3歳児。ごっこ遊びでは、大人の言葉や言い回しをまねたり、役に応じた言葉を使ったり、場面に応じた言葉を話したりし、やりとりの言葉を身につけていきます。

♡保育者は、道具や環境を整えて、経験やしていることを「～しているんだね」等と言葉にしたり、「○○ちゃんが一緒に食べたいんだって」等、子ども同士をつなげる橋渡しをしたりして言葉の育ちを支えています。

つなげ
ちゃおっ



★大切にしている環境

♡保育者の関わり

好きな遊びを見つけて繰り返し遊ぶことを楽しむ3歳児。友達のしていることに興味を持ち、関わりをする年齢なので、友達と一緒にする中で、自分の思いを伝える言葉も育まれていきます。

♡保育者は、子どもたちの興味を捉え、繰り返し遊べる環境を準備します。夢中になるからこそ、自分の思いを伝えたい気持ちを引き出します。



11月 行事予定 (月曜はじまり)

()内の数字は学年を記載しています		水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5 おにぎり	6 絵本	7 布団	8	9
文化の日	身体測定(～7)	講演会・役員 決め・クラス 懇談会	お話タイム(4) ハッピースマイル コンサート(5) オープンデー			
10	11	12 おにぎり	13 絵本	14	15	16
あいほん貸出 (すみれ、さくら)			内科健診 就学時健診(5)			
17	18	19 おにぎり	20 絵本	21 布団	22	23
あいほん貸出 (ばら、もも)			1年生交流(5)			勤労感謝の日
24	25	26 おにぎり	27 絵本	28	29	30
振替休日	発表会 リハーサル (クラス毎・今週) あいほん貸出 (きく、たんぽぽ)		誕生会	ピカピカデー		

- ・水曜日 おにぎりの日 幼稚部：園外保育(サーキット)
- ・木曜日 絵本貸出し
- ・金曜日 帽子持ち帰り 布団持ち帰り(隔週)

今後の予定

12日(金)生活発表会
29日(月)～1月3日(土)年末年始休業日

お願い

○ジャンパーかけについて

ジャンパーは、廊下のフックにかけます。フックにかけやすいようにジャンパーのえり部分にヒモを付けて下さい。

○ひもつき



写真のように、ネーム
タグ等も活用できます

×フードかけ



フードでかけると
落ちやすいので
必ずヒモをつけましょう

○水筒の準備について

保育部(0～2歳児)水筒の準備はいりません。

幼稚部(3～5歳児)は、水曜日に園外保育(雨天時：サーキット)を行いますので、水曜日のみ水筒を持って来て下さい。

※常時水筒を持参したい方は、コドモンで担任にお知らせください。

セラトピアのおじいさんおばあさんとの交流をしたよ



10月22日にセラトピアのおじいさんおばあさんと5歳児が交流をしました。この交流はコロナ禍で中断していましたが、今年度、復活することができました。

交流では、こども獅子舞やがんばっていることを発表し、ふれあいで、名前を紹介し合ったり、肩たたきをしたりしました。うれし泣きで、目を赤くしておられるおばあさんを心配し「目が赤いけど大丈夫？」と声をかけた子もいました。

子どもたちが普段なかなか触れ合うことがない高齢者の方ですが、愛おしく思い接してくださる姿、涙を流しながら拍手を送ってくださる姿を通して、子どもたちも感じるものがあつたようです。



「肩たたきたら
おじいちゃんおばあちゃん
がうれしい顔をしてくれた
のがうれしかったです」
～感想発表より～

地域の方にも元気を届けた
子ども達。また会いに行きますね♡